

# 高度外国人材活用のための実践マニュアル

株式会社ジェイエーエス  
代表取締役社長 小平達也  
[kodaira@ja-sol.jp](mailto:kodaira@ja-sol.jp)

会社名:株式会社ジェイエーエス (Japan Active Solutions)

代表取締役社長:小平達也

事業概要:日本企業のグローバル展開に関わる組織・人材マネジメント上の支援。

所在地:〒106-0032 東京都港区六本木4-9-2

電話:03-3403-0528 メール:[info@ja-sol.jp](mailto:info@ja-sol.jp)

URL:<http://www.ja-sol.jp/>

ソリューション ※ジェイエーエスサイト( <a href="http://ja-sol.jp/">http://ja-sol.jp/</a> )にて 入手可能	情報収集 整理	採用	活用	コミュニケーション	育成
①外国人社員採用・活用ハンドブック	○	○	○	○	○
②グローバル人材・採用実務 (シリーズ)	○	○			
③外国人社員活用実務 概要とコミュニケーション(シリーズ)				○	
④外国人社員向け社内研修 一企画・実施マニュアル(シリーズ)					○
⑤アジア6ヶ国 国別人材比較とマネジメントのコツ(シリーズ)		○	○		
⑥アジア国籍社員の活用法 中国・インド・ベトナム 採用・活用ポイント		○	○		
⑦日本本社グローバル化対応のポイント	○				
⑧グローバルコミュニケーションの戦略的構築				○	
⑨外国人社員 採用・活用チェックシート	○	○	○	○	○
⑩メールセミナー 外国人社員 採用・活用のポイント	○	○	○	○	○

# 高度外国人材活用のための実践マニュアル を上手に使うポイント①

## 「自社における外国人社員採用目的・優先順位の確認」

### ＜グローバル人材の定義・対象＞

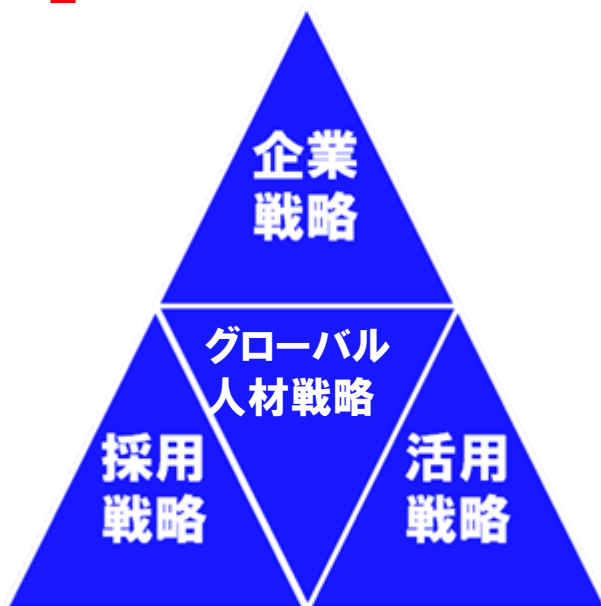
国内			海外		
・日本人社員のグローバル化	・外国人留学生などの海外人材	・受入出向社員 (インパトリエツト。逆出向)	・海外赴任者 (エキスパトリエツト)	・現地社員	・現地社員 (第三国での活用)

### ＜外国人社員 採用目的3分類＞

- ①国籍不問採用
- ②グローバル(ブリッジ)要員
- ③ダイバーシティの確保

# 高度外国人材活用のための 実践マニュアル を上手に使うポイント②

「自社戦略に基づき、  
人材マネジメントのプロセスで  
考える」



1. 募集・採用	<p>1-1 高度外国人材への就職情報の提供・募集は多様な方法が必要。</p> <p>1-2 経営理念、社風、求める人材像を明確に伝えることがポイント。</p> <p>1-3 高度外国人材の採用・選考方法を考慮。</p>
2. 配属	<p>2-1 配属・配置への配慮が必要。</p> <p>2-2 評価、処遇の仕方の見直が必要。</p>
3. 職場環境整備・運営	<p>3-1 高度外国人材に職場で疎外感を与えないことがポイント。</p> <p>3-2 仕事の進め方の見直が必要。</p>
4. 育成・教育	<p>4-1 教育研修は日本企業の魅力！高度外国人材に必要な教育研修の提供が必要。</p> <p>4-2 高度外国人材のキャリアについての希望（キャリアの時間軸）の確認が必要。</p> <p>4-3 日本語能力の向上を継続的支援が必要。</p>
5. 生活支援	<p>5-1 安心して働ける生活環境の整備が必要。</p> <p>5-2 就労ビザの手続きなど、慣れない事務手続きのサポートが必要。</p>
参考情報	<p>高度外国人材の募集に関する支援機関。</p>

# 高度外国人材活用のための実践マニュアル を上手に使うポイント③

## 「必要となる対応や課題をできるだけ事前に把握」

### <企業が掲げた高度外国人材の採用・活用・維持を阻害する要因>

#### (1) 採用:

- **能力の判定**が難しい(45.8%)
- 求める**日本語能力**を有する人材が少ない(29.5%)

#### (2) 活用:

- 採用しても受け入れることができる**部署が限られる**(41.1%)
- **言語・コミュニケーション上**の障壁がある(36.6%)

#### (3) 維持:

- **ビザの延長等法制度上**の制約が多い(25.1%)
- 高度外国人材の雇用管理ができる**管理者が不足**(24.1%)

出所:厚生労働省 企業における高度外国人材活用促進事業  
調査報告書(2010)

Japan Active Solutions

#### ・調査概要

##### 1. 調査目的

我が国の企業において優秀な外国人(以下、『高度外国人材』という)を採用・活用する上での取り組みについての実態を把握し、今後、外国人がその有する能力を有効に活用できるよう、我が国の企業における人事・労務管理の在り方について検討するための基礎資料とする。

##### 2. 調査の設計

調査を進めるにあたっては、有識者による委員会を設置し、適宜アドバイスを受けながら、調査設計の検討をおこなった。

##### 3. 調査の方法

上場企業3,778社及び本業務でフォーラムを開催する福岡地域における有力企業200社の計3,978社を対象に郵送法によるアンケート調査を実施した。

##### 4. 調査期間

2009年9月28日～2009年10月16日

##### 5. 回収結果

有効回収率20.4%

# 高度外国人材活用のための実践マニュアル を上手に使うポイント④

**「職場のニーズを踏まえる、職場のモチベーションを大切に  
にする」**

## ＜受入部署のモチベーション例＞

1. 組織のグローバル化
2. 高度な語学力
3. 日本人社員への教育効果

# 高度外国人材活用のための実践マニュアル を上手に使うポイント⑤

## 「外部リソースを上手に活用する」

### <高度外国人材の募集に関する支援機関>

◆外国人雇用サービスセンター(厚生労働省)

留学生等の高度外国人材の就職支援の拠点です。

○東京外国人雇用サービスセンター

〒106-0032 東京都港区六本木3-2-21 六本木ジョブパーク地下1階

Tel. 03(3588)8639 <http://www.tfemploy.go.jp/>

○名古屋外国人雇用サービスセンター <http://www.aichi-rodo.go.jp/gaikokujin/>

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル12階

Tel. 052(264)1901

○大阪外国人雇用サービスセンター

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル15階

Tel. 06(6344)1113 <http://osaka-rodo.go.jp/hw/gaisen/>

◆学生職業センター、学生等職業相談窓口(厚生労働省)

学生職業センター・学生等職業相談窓口は、高齢労働省がハローワークの出先機関として、

各都道府県に1箇所ずつ設置している国の機関で、大学等新卒対象就職情報の提供と職業相談を実施しています。

○全国の学生職業センター・学生等職業相談窓口一覧ホームページ

<http://job.gakusei.go.jp/f/index2.htm>